

○深谷秀峰議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次、1番諏訪一則議員の発言を許します。諏訪一則議員。

〔1番 諏訪一則議員 登壇〕

○1番（諏訪一則議員） 1番諏訪一則でございます。議長のお許しをいただきましたので、通告順に従い、質問いたします。

常陸太田市瑞竜霊園について質問いたします。

先日、市民より瑞竜霊園の利用の不便さについてお話がございました。ある年配の男性が、母親と思われる老婦人の車椅子を押して瑞竜霊園に墓参に来ましたが、墓石の並ぶ園路に階段があり、それ以上前へ進むことができず、あきらめて遠く離れた自分の家の墓地に向かい、手を合わせて帰っていったそうです。

その話を聞きましたので、私は自分の家の車椅子を持って瑞竜霊園に赴き、現場を見てまいりました。やはり園路の入り口には階段が存在し、車椅子での入場は不可能でした。人の乗っていない車椅子でさえ3段の階段を超えることは容易ではありません。まして人が乗っている車椅子ですので、到底不可能です。また、新たな問題も見つかりました。階段を上った墓石間の通路に碎石が敷かれ、とてもお年寄りや車椅子の方、車椅子を押す方には非常に通行に過酷な園路となっております。

お墓参りに来た人が我が家のお墓に近づけず、遠くよりのお墓参りしかかなわない園路では、市民の方々に申しわけがありません。階段をなくし、碎石の園路を舗装しなければならないのではないのでしょうか。このほど完成した瑞竜霊園新区画は園路入口の階段がなく、フラットに改良され入りやすくなり、喜ばしいことと思います。園路にも改良が見られますが、舗装化されればなおよろしいかと思えます。

天下野第一墓園、天下野第二墓園、玉造霊園、里川霊園、徳田霊園、小妻霊園、小中霊園、大菅霊園、大中第一霊園、大中第二霊園、町屋霊園、大中寺入霊園、折橋霊園、松平第一墓園、松平第二墓園、松平第三墓園、瑞竜霊園、17カ所のつくりが全て同じ構造なのではないでしょうか。ぜひとも古い霊園は園路の入口の階段をなくし、碎石の園路を舗装するなど善処していただきたいと思えます。

2問目は、市民の生活道路である市道の危険箇所について、市ではどのように把握しているか伺いたい。市道の危険箇所の把握数、特に通学路について伺いたい。

3つ目は、市道の拡張整備について、各町内からの要望数、特に通学路、地区別要望数がどうなっているかを伺いたい。

4問目は、市道を整備する予算や要望箇所、整備する際の重点事項は何かを伺いたい。

最後には、市道新0111号線機初地区幡江川用水路水門より、県道61号線合流地点まで約270メートルの道路の拡張、道路の整備についてお聞きしたいと思います。

私の知っている市道、旧番号0108号線、新番号0111号線は、白羽地区に新しい橋がかかり、現在通勤の抜け道となっております。通行量が以前よりも格段に増えております。機初地区幡江川用水路水門付近は道幅が狭くなり、しかもカーブになります。ここまであった歩道がなく

なってしまいます。極端に狭くなっております。小学校の通学路でもあり、危険な道路であることは皆さんもご承知のことと思います。

現在、小学校の通学には、地元の2名のボランティアによって付き添いが行われております。事故の起きる前に子どもの安全の確保を鑑み、早急な道路拡張及び道路の整備を行うことが必要であるかと考えます。

以上についてご質問いたします。答弁のほどをよろしくお願いいたします。

○深谷秀峰議長 答弁を求めます。市民生活部長。

〔荻津一成市民生活部長 登壇〕

○荻津一成市民生活部長 瑞竜霊園の整備についてお答えいたします。

まず、質問事項の1つ目の通路入口階段のスロープ化、及び2つ目の墓石間園路の舗装化につきましては関連がございますので、あわせてお答えいたします。

瑞竜霊園は昭和59年度から使用開始され、今年度整備の177区画を含めると、これまでに2,048区画が整備されております。霊園内の通路入口の階段につきましては、昭和59年から平成5年ころにかけて販売されたところを中心に、各区画の入り口部分が階段となっており、全部で54カ所あります。階層は2段または3段のところが多く、6段や8段の箇所もあり、お年寄りや足の不自由な方にとっては通行しづらい状況にあります。特に、車椅子の方にとってはご家族の付き添いがあっても通行できない状況にあります。また、墓石間園路につきましては、総延長約4,500メートルで、ほとんど碎石が敷かれた状態です。そのため、足の不自由な方や車椅子の方にとっては通行が難しい状況にあります。

諏訪議員のご指摘のとおり、墓前におきまして手を合わすことができない霊園では、管理者として大変申しわけないと思います。霊園はお子様からお年寄りまで多くの方が墓参に訪れるところであり、訪れた方が安全に不自由なく、安心してお参りできる環境を作ることが大切であると認識しております。したがって、今後、早期に瑞竜霊園の全体の状況を把握するため、詳細な調査を実施し、その改善策について技術的な研究・検討をまいります。

次に、3つ目の市営霊園17カ所の状況と入口階段のスロープ化、墓石間園路の舗装化についてお答えいたします。

瑞竜霊園以外の市営霊園におきまして、園路の一部が階段になっているところは、松平第一霊園や大中第一霊園など9霊園において18カ所あります。また、碎石等未舗装の園路は小妻霊園や折橋霊園など9霊園に、延長で1,500メートルあります。このため、瑞竜霊園と同様に今後研究、検討をまいります。

○深谷秀峰議長 教育長。

〔中原一博教育長 登壇〕

○中原一博教育長 道路・歩道整備についてのご質問の中の、通学路の危険箇所の把握数及び通学歩道の地域別要望数についてお答えいたします。

初めに、通学路危険箇所の把握数についてでございますが、通学路危険箇所につきましては、毎年春に各小中学校が実施する、教職員、保護者合同の通学路の点検及びその結果報告に基づく

教育委員会職員の現地確認により、危険箇所を把握しております。平成26年度の通学路の危険箇所数は小学校47カ所、中学校22カ所で、全部で69カ所でした。

次に、地区別に申し上げますと、太田地区は小学校32カ所、中学校13カ所の計45カ所、金砂郷地区は小学校6カ所、中学校5カ所の計11カ所、水府地区は小学校が5カ所、中学校が2カ所の計7カ所、里美地区は小学校4カ所、中学校が2カ所の計6カ所となっております。

通学路危険箇所につきましては、常陸太田工事事務所、太田警察署、市PTA連絡協議会等で組織する常陸太田市通学路安全対策連絡協議会の中で、毎年8月ごろ合同点検や改善の検討を行い、専門的な見地からご意見をいただき、関係機関に改善要望を行い、緊急性のあるものや改善できるものから順次対策を実施しております。なお、平成26年度は、通学路危険箇所69カ所のうち、現在までに23カ所について対策を講じてきております。

またあわせて、地域子ども安全ボランティアの皆様の協力をいただき、登下校時の立哨指導や見守り活動を行い、子どもたちの安全確保に努めているところであります。地域子ども安全ボランティアにつきましては、児童生徒の安全な通学を目指し、活動の一層の充実を図るため、来年度に向けてボランティアの方々の増員を今後進めてまいります。

○深谷秀峰議長 建設部長。

〔生田目好美建設部長 登壇〕

○生田目好美建設部長 道路歩道の整備について、市道における各町内よりの拡張整備要望数についてお答えいたします。

市では、市道の拡張整備の要望につきましては、各町会よりの工事要望書として関係地権者の用地買収に係る同意書を添付した上で、町会長名により提出していただいております。平成27年2月末現在における過去10年の要望件数について整理をしますと、年度により若干のばらつきがございますが、10年間の合計で76件の道路改良の要望を受けております。年平均にしますと、約8件の要望を受けている状況でございます。

続きまして、市道における要望箇所を整備する際の重点事項についてお答えをいたします。

市では、町会からの要望箇所につきましては、道路整備の適正化及び計画的推進を図ることを目的に、常陸太田市道路整備審査会で審議をし、整備路線を選定しております。審議に当たりましては、関係地権者全員が土地の買収に同意していることを前提としまして、他集落や幹線道路とのアクセス性を向上する道路となっているかや、交通量等の利用状況、コスト縮減も含めた施工性等、地域性、緊急性、経済性、利便性等を総合的に勘案し、優先順位の高い箇所を選定し、計画的に道路整備を進めていくこととしております。

続きまして、市道新0111号線について、1点目の機初地区用水路水門より県道61号合流地点まで、約270メートルの道路拡張及び歩道の整備について、2点目の学童の通学路の確保についてお答えをいたします。

市道0111号線幡田渡幹線につきましては、里川を挟み、国道349号と並行して市の南北を結ぶ幹線道路であり、通勤通学、日常の生活道路として利用されている大変重要な路線であります。現在、機初地区幡江用水路水門より田渡公民館までの延長2,640メートルは、車道部2

車線と歩道の整備が完了しておりますが、機初幡江用水路水門より県道日立笠間線までの延長270メートルにつきましては、道路が里川の堤防と幡江用水路に挟まれており、道路の幅員が狭いため、歩行者等が車両とすれ違う際は危険な状況となっております。

このような状況を解消するため、当区間の延長270メートルを含む幡町の市道0111号線から小沢町の市道4057号線までの延長約1,000メートルと、その途中から県道日立笠間線に接続する市道4041号線の延長約150メートルを合わせて、1,150メートルの区間につきましては、今年度常陸太田市道路整備審査会に諮問し、整備路線として承認を得たところでございます。

今後、河川管理者であります国土交通省茨城県里川堰土地改良区など関係機関との調整を進め、地権者の同意を得ながら、次年度以降、測量等に着手する予定としております。なお、市道0111号線は、車道が幅員7メートルで、片側に2メートルの歩道が付き、全幅で9メートルの計画となっております。交通量の増加に対応することとあわせて、児童生徒の安全な通学路として歩道の整備も行いますので、当路線の事業が円滑に推進できるよう、関係機関との協議、調整等を進め、事業の推進に努めてまいります。

○深谷秀峰議長 諏訪議員。

〔1番 諏訪一則議員 質問者席へ〕

○1番（諏訪一則議員） ありがとうございます。

それでは、2回目の発言をさせていただきます。

高齢化社会に対する基本的なサービス、そして、安心・安全、住みよいまちづくりの一環として階段をなくし、スロープをなくし、碎石通路を舗装化する、これは非常に重要なことだと思います。どうぞよろしく願いいたします。市民の必要とするお墓参りが阻まれるようでは困りますので、何とぞ早急をお願いいたします。市民がより安心して利用できるように、高齢化社会の実情を踏まえ、霊園の構造計画を立てることが、基本的に適合性の高い事業と考えております。

2つ目は、この常陸太田市も人口減少をとめるべくいろいろな努力がなされていると思いますが、通学路の道路がいまだ不十分なところがたくさんあるということですので、この辺も踏まえてひとつよろしく願いいたしたいと思います。道路事情が大きく変貌し、交通量が増えている今、常陸太田市の将来を担う子どもたちの安全を考え、新0111号線の早急な道路拡張、歩道整備が行われるようお願いいたします。

以上をもちまして、私、諏訪一則の質問を終了させていただきます。